

工事契約9件を含む 23件すべて可決

平成28年第2回定例議会が6月1日から20日までの日程で開催された。9日～13日には13人の議員が一般質問を行い、今回は広域避難計画について多くの議員が取り上げた。最終日20日の議案審議では、阿漕ヶ浦公園ホツケ一場改修工事や庁舎外装改修及び屋上防水改修工事などの工事請負契約9件を含む16件の議案をはじめ、承認6件、同意1件をすべて可決した。

▽請願審査について

原子力問題調査特別委員会に付託されていた請願第28-1号「東海第二発電所の安全審査を早急に行うことを国に求める請願」については、賛成多数で採択された。

また、建設農政委員会には、請願第28-2号「PPP協定を国会で批准しないことを求める請願」は引き続き審査、請願第28-4

号「東海村広域避難計画の策定にあたり、『現実的な避難訓練の実施』と『計画の検証機関』を、茨城県及び東海村に求める意見書採択」を早急に求める請願が新たに付託された。

そして、原子力問題調査特別委員会には、請願第28-3号「地域と住民の安全確保を強めるために、日本原電が『安全協定』を見直すよう求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願が付託された。それぞれ継続審査中である。



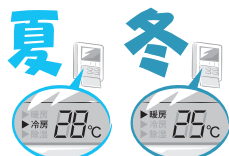
外装改修中の庁舎

💡庁舎照明をLED化💡

LED化により 温室効果ガスと光熱費を削減

庁舎照明設備改修工事一般競争入札の結果、村の設計額1億7191万円に対して1億2377万5200円（税別）で落札。設計額に対して入札額が低価格だったことから、低入札価格調査を実施した結果、問題のないことを確認し本議会において可決した。

東海村では、平成14年度にとうかいエコオフィスプラン策定を皮切りに、現在は第3次プランを運用中。



<主な取り組み>

- ・こまめな消灯
- ・夏はクールビズ！エアコンは28℃
- ・冬はウォームビズ！エアコンは25℃

エコオフィスプランの経緯

エコオフィスプランとは…地球温暖化対策推進のために行政が率先して行っている取り組み

第1次とうかいエコオフィスプラン (H14年度～H18年度)

温室効果ガス排出量目標H12年度比7%
⇒実績10%（平成18年3月）

第2次とうかいエコオフィスプラン (H19年度～H23年度)

二酸化炭素排出量目標H17年度比5%
⇒実績8%（平成23年3月）

第3次とうかいエコオフィスプラン (H24年度～H28年度)

二酸化炭素排出量目標H17年度比17.5%
⇒実績25.9%（平成28年3月現在）

※公共施設の使用電気量の20%以上を太陽光発電で賄うことに取り組み平成26年度実績12.2%となっている。